

地方独立行政法人愛知県美術館機構第一期中期目標の基本的な考え方について

目 標 の 期 間

2026年4月1日から2031年3月31日までの5年間

美術館を取り巻く状況と課題

《状 況》

心豊かな県民生活と活力ある愛知の実現に向け、文化芸術活動の重要性はますます高まっており、美術館は、県民の文化芸術活動や鑑賞等の機会の拡大、地域の魅力向上や学術の発展に寄与することが求められている。

《課 題》

- ・ 貴重なコレクション、広い敷地や建物空間等のポテンシャルを活用した更なる魅力向上や誘客策を実施するため、美術館の運営の障壁になっている公共特有の制約、効果的な広報や施設整備等に必要な財源及び人員不足などの現状を改善することが必要。
- ・ 自主財源拡大のため、国費等の外部資金獲得の強化や新たな会員制度の創設等を図る他、2館一体運営による業務運営体制の合理化を図ることが必要。

美術館及び法人の取組の方向性

美術館運営

《果たすべき役割》

愛知県における文化芸術の拠点として、美術及び陶磁に関する作品その他の資料を収集し、保管して公衆の観覧に供するとともに、これに関連する教育普及事業や調査研究等を通じて、文化芸術の振興を図り、学術の発展及び県民の文化と教養の向上に寄与する。

《取組の方向性》

- ・ 収集方針に則り、質の高い美術及び陶磁に関するコレクションを形成、活用するとともに、良好な状態で保管し、後世に継承する。
- ・ 美術品等を広く県民に紹介するとともに、教育普及事業の実施や創作活動の活性化の推進などの多彩な活動を展開し、文化芸術の発展に努める。
- ・ 他の関係機関と連携し、文化芸術の振興と人材育成等を推進する。
- ・ 愛知県の文化芸術に対する国内外での評価を高め、調査研究の成果及び所蔵する美術品等を活用し、美術及び陶磁文化を中心に文化芸術振興に寄与する。

法人運営

《果たすべき役割》

理事長、美術館長のリーダーシップのもと、美術館の強みや特色を生かした戦略的で自主自律的な法人及び美術館運営を行うとともに、法人や美術館に求められる役割や期待の変化を的確に把握し、社会の変化に機動的に対応できる組織運営体制を構築する。

《取組の方向性》

- ・ 来館者の裾野拡大を図るため、効果的な広報や戦略的な運営を可能とする体制を整備する。
- ・ 美術館活動の充実や法人運営の効率化を進めるため、公共特有の制約に捉われない多様で柔軟な人事制度や会計制度を構築する。
- ・ 経営基盤の確立のため、運営費交付金を主な財源としつつ、国費等の外部資金獲得等による安定的な財源確保に取り組むとともに、2館一体運営による業務運営体制の合理化等を図る。

※中期目標の記述は、法人が創意工夫を発揮しつつ自主的、自律的に業務運営の改善に取り組むことを促す観点から、**大きな取組の方向性**を示すものとする。